

ふれあい

2024

9

No.450

牛久愛和総合病院 広報誌



血管内治療科赴任にあたり

血管内治療科 医長 笹嶋 寛史



皆様、こんにちは。2024年度より血管内治療科 医長として赴任しました笹嶋寛史と申します。

血管内治療科について当科瀧澤部長の回（ふれあいNo.448）で詳しく書いてありますが、聞き馴染みのない診療科ですので簡単に説明しますと心臓・脳血管以外の大血管や末梢血管（血管外科領域）にカテーテル治療を行う科になります。私はこれまで大学病院の心臓血管外科 末梢血管班で勤務してきました。今回、血管内治療科に所属することになりましたが専門分野を変えたわけではありません。これまでの経験をもとに専門性を高めた治療に加わるべく赴任しました。

血管疾患はこれまでバイパス手術など観血的手術が主でしたが、カテーテル治療デバイスの改良で長期成績が向上し、カテーテル治療の割合が年々増えています。当院放射

線科にはIVR治療（血管内治療）に精通した医師が多数在籍しています。血管外科畑出身の当科医師とは異なる強みを持っており、お互いの長所や経験を生かした治療が出来るかと自負しています。ただ、現時点で全ての疾患をカテーテル治療だけで完結できるわけではありませんがカテーテル治療は低侵襲、短期入院での手術が可能であり患者様の負担軽減が期待できます。適応の評価のためにも一度ご相談いただければ幸いです。

当科代表的疾患である「腹部大動脈瘤」「閉塞性動脈硬化症」「下肢静脈瘤」についてご説明します。

「腹部大動脈瘤」とは、腹部大動脈が3cm以上に膨らんだものをいいます。膨らんでくると拍動する塊をお腹に触れる事がありますが、特に痛くも何ともありません。しかし、破裂した際には高率に命を落とす危険な病気です。動脈瘤の大きさが5cmを越えると破裂の危険が高くなる事が知られており、手術の適応となります。

「閉塞性動脈硬化症」とは、動脈硬化により動脈がつまっ

たり、狭くなったりして症状が出現する病気です。高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、透析の方にリスクが高くなります。症状は歩くとふくらはぎのあたりが痛くなり、しばらく休むとまた歩けるようになる間欠性跛行が出現します。症状が進行すると、寝ている際に足が痛んだり（安静時痛）、さらに進行すると足の壊疽が出現します。有症状であれば治療の適応となります。

「下肢静脈瘤」とは下肢静脈の逆流防止弁の機能不全により静脈が拡張したものをいいます。症状としては足のポコポコ、だるさ、むくむ、つりやすいなどです。良性疾患ではありますが、進行すると日常生活に影響する場合や難治性の潰瘍となります。症状により弾性ストッキングやカテーテル治療の適応となります。

左記の症状は判断が難しい場合もございます。少しでもご自身の症状が気になる方はお気軽にご相談下さい。地域の皆様が健康で、安心した生活に少しでも貢献できるようにお手伝いさせていただきます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



多焦点眼内レンズと

涙道内視鏡について

眼科 医長 井上 友輔

この度、当院眼科で行っている治療、特に白内障手術の中の多焦点眼内レンズおよび涙道内視鏡手術について解説させていただきます。

まず多焦点レンズについてです。白内障手術は、加齢等で濁った水晶体を除去し、眼内レンズ（人工レンズ）に置き換える手術になりますが、現在、レンズの種類は大きく、単焦点レンズ、多焦点レンズの2つに分けられます。眼内レンズは人間の水晶体と違い、それ自身が厚みや形を変えて焦点を変化させることはできません。すなわちピント調節機能は持たないため、単焦点レンズの場合は、ピントが合う距離が限定され、ピントが合わない距離は眼鏡で矯正して見る必要があります。一方、多焦点レンズの場合は、レンズに様々な細工がしてあり、それにより二つ以上の距離（遠方と近方、遠方と中間距離と

近方など）にピントが合うようになっています。多焦点レンズの中で、「レンジスコンフォート」という遠方と中間距離までが見えるレンズのみ保険診療ですが、その他の多焦点レンズは、選定療養という制度で使用されています（手術費用の一部は自費になります）。

多焦点レンズは、術後あまり老眼鏡を使いたくない方向にあり、実際に選定療養の多焦点レンズでは近くを見るとときに老眼鏡の使用割合は1-2割程度で済みます。しかし、このレンズには欠点もあります。単焦点レンズが一箇所に焦点を合わせているのに対して、多焦点レンズは複数の箇所に光を振り分けま

要です。また、多焦点レンズの見え方に慣れるまでに、術後、しばらく時間がかかるといわれています。多焦点レンズを選ばれる際は、そのメリット、デメリットをよく検討されたほうがよいでしょう。

次に涙道内視鏡手術についてです。涙道とは、「涙の道」と書きますが、涙腺から分泌された涙は涙道を通り鼻に流れ出ていきます。涙道は管腔構造になっており、何らかの原因で、内部が狭くなったり、閉塞したりすると、涙がうまく流れず外にあふれてきます。

以前は金属ブジーを用い、盲目的に詰まった部位を解除していましたが、成功率が低く、また涙道内部の観察もできないうような欠点がありました。涙道内視鏡は、上記の欠点を改善すべく、日本で開発され、2018年からは保険適用の診療となっています。

施設により治療法や術後の管理が若干異なっておりますが、当院では涙道内視鏡を用いて閉塞部位を直接観察し、解除した後は、涙管チューブを挿入し、2-3ヶ月間留置しています。その後、定期的

な通水を行い、期間が経過したらチューブを抜去します。涙道内視鏡をもつていても、閉塞部位が固く解除できない症例、術後再発してしまう症例が一定数あり課題となっています。消化管内視鏡のように、涙道内視鏡自体にもっと治療機能を持たせたり、涙管チューブの素材や太さなどを改良したりすることが、今後必要かもしれないと考えております。

あつかれさま

退職 8/31付
退任 整形外科部長
善 整形担当部長
救急 救急出口

種子田吉郎理事長、牛久愛和総合病院幹部の先生方をはじめ、全ての職員の皆様のおかげで充実した5年4か月を送ることが出来ました。中でも総合健診センター、内視鏡室、手術室の先生方やスタッフの皆様の御理解、御協力により、私らしい診療スタイルで仕事をさせて頂けたことに大変感謝しております。また整形外科在籍中は顧問の梅原新英先生とリハビリスタッフの皆様には大変お世話になりました。

入職者

8/1付入職
研修医 中村 真悠子

コロナ禍に突入してからは感染対策委員会の皆様、病棟スタッフの皆様とともに戦いぬいたこともいい思い出になりました。ありがとうございます。全てのことに感謝し、これからも皆様がお元気で御活躍されることをお祈りしています。

腎臓内科志望の研修医1年目です。シャント手術の勉強をしたく、ご高名な石津先生のご指導のもと研修させていただきたく、貴院での研修を志望しました。

①出身大学 杏林大学
②現在最も熱中しているもの（趣味） ゴルフ
③生年月日 1990年12月16日
年齢 33歳 血液型 A型
星座 いいて座

8月1日付

看護部

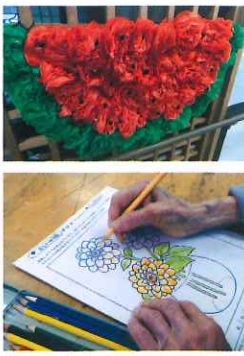
看護師 磯田 宏美
一日も早く職場環境に慣れ、笑顔で質の良いケアが提供できるよう努めてまいります。

春秋園だより

花を見たり、旬な食べ物を食べたり。私たちは普段から、季節の移り変わりを感じ、それらにすこしずつ癒されながら生活しているように思います。

デイケアの送迎車内からは、街の景色が見えます。玄関から庭にかけて鮮やかなバラの花が咲いているお宅があります。思わず、「見事なお庭ですね」というと、「妻が趣味でガーデニングをやっているんです」とお話しされていました。

利用者様で若いころ山歩きが趣味だった方がいます。いろいろな山の思い出を語られます。『奥山にもみぢふみわけ 鳴く鹿の』という本、続けて『声聞くとときぞ 秋は悲しき』と返していただけた



した。今は身体が不自由になっていけな

いけれど、山歩きをしていて頃を思い出して楽しそうに語ります。

利用者様たちにとって、季節の移り変わりを感じる機会は少なからずあります。施設内の室温は年中、ほぼ一定に保たれていますので「建物の中に入ると、外の暑さ寒さがわからない」と話す方々もいます。

そのような中であっても、季節を感じていただけるよう、食やレクなどに日々工夫を凝らしています。例えば、天の川をイメージした冷やし中華（七夕）やうなぎ（土用の丑の日）など、行事に合わせたメニューを提供したり、塗り絵や壁画などで季節感のある作品を作ったりしています。

今後これらのお話を話題のきっかけにしたり、窓から見える空や景色の日常のちよつとした変化を共有したりしながら、利用者様と季節の移ろいを楽しみたいと思います。（春秋園スタッフ同）

高校生リハビリの見学会

リハビリテーションセンター

作業療法士 小日向 美紅
理学療法士 早乙女 恭弥
言語聴覚士 飯田 有香音

茨城県リハビリテーション専門職協会主催による高校生リハビリ見学会を7月31日、8月1日の2日間実施しました。参加した高校生は、リハビリの仕事に興味がある高校生10名です。当日は、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の主な仕事内容や仕事のやりがいについて説明

高校生一日看護体験

看護部

B3F病棟 副主任 長山 奈穂子

7月26日茨城県看護協会より依頼があり、県内高校生を対象とした「高校生一日看護体験」を実施しました。看護の心に触れることにより、将来、看護職または病院で働くスタッフを目指すという夏休み期間に

様々な医療機関で行われます。当院へは24名の高校生が参加してくれました。

し、リハビリの業務も実際に見学・体験してもらいました。

理学療法の見学・体験では、車椅子乗車や補装具の装着体験・リハビリ場面の見学を行いました。車椅子に乗ったり、補装具をつけて移動することで普段より動きが制限されること、動く際にどのようなことに注意をすればよいのかを感じてもらうことができました。

作業療法の見学・体験では、リハビリ場面の見学と自助具の体験、患者さんへ実際に行っている評価用紙を使用した体験を行いました。便利な自助具をどのように活用するのか、またど

のような目的で患者さんへ評価を行っているのか、理解が深まった様子でした。

言語聴覚療法の見学・体験では、嚥下障害のある患者さんに提供しているゼリーの試食や失語症の患者さんに行っている言語訓練を体験してもらいました。食べること・話すことが難しくなるとどうなるのか、どのような支援をする必要があるのかを感じてもらえたと思います。

今回の見学会を通し、リハビリの仕事に対する興味をさらに深め、具体的な将来像を考える有意義な機会となっていれば幸いです。

看護体験オリエンテーションに続き、「看護のお仕事」についてDVD鑑賞しました。

その後、9グループに分かれ院内見学をしました。普段は見られない病棟の裏側を見て、患者さんを支えるためにたくさん職種が関わっていることを学びました。

見学後、病棟へ移動し、初めて見る病室や医療機器に興味津々体験できました。

また、看護師から説明を受け、患者さんへの食事配膳や血圧測定、車椅子体験など様々なことを行いました。最初は緊張した

様子でしたが「聴診器から脈の音が本当に聞こえる」「車椅子って速いと怖い」など体験を通して自然に笑顔ができました。

実際、看護師に仕事に対する意気込みや、うれしかったことや辛かったことなどの話を聞く機会もありました。大学や専門学校を卒業した先輩看護師の話を聞くことができ、今後の進路を考えるうえで一助になったのではないかと思います。

今回の体験を通し、より一層看護に対する興味を深め、具体的な将来像を持てる機会となっていると幸いです。



院内研究発表会

7/4・5

去る7月4日から5日にかけて、院内研究発表会が行われました。第61回という歴史ある当院のイベントです。院内各部署一丸となり、臨床研究を行い、その成果を大勢の職員の前で発表する会ですが、ここ5年間はコロナの流行により休会となっていました。コロナ後は3密を避けるというスローガンにより不要不急の会議は中止やリモートになり、新入職員は歓送別会も忘年会も経験していません。そんな中この会が再開され盛況

《出来事ピックアップ》

のうちに幕を閉じました。対面では感じられない緊張感の中での発表で、一層成長できたのだと思います。現在はコロナに対する予防も治療も確立されてきていて、恐れずぎて行動制限するのではなく、正しく対処しさえすれば過剰な制限はかけるべきではない時代に入っています。第62回に向けて頑張っていきたいと思います。優秀演題で表彰された、入退院支援、リハビリセンターの方はおめでとうございます。他の方々の発表も遜色なく素晴らしかったです。お疲れ様でした。

(教育委員会兼図書委員会
委員長…瀬口雅人)

編集だより

今年は梅雨明けから猛暑となり、残暑も厳しいと言われています。夏バテ対策には、食事、運動、睡眠のバランスを整える事が大切です。涼しい場所で軽い運動をして、夏を乗りきりましょう。

(E・N)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床
地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間



牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
人工透析センター	
読影センター	
地域リハ・ステーション	
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック	Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久	Tel 029-817-5111

